



当識と素材を取り戻すための

自主ゼミ 2019 vol.5

*「見当識」⇒ 時間や場所など今自分がおかれている現実をきちんと把握すること。(広辞苑)



どらま館企画 2019

「憲法と身体」

を ふり返る

レポーター 宮野 祥子 (早稲田大学 非常勤講師:教育学)
 呉宮 百合香 (早稲田大学文学研究科博士課程)
 水谷 ハ也 (早稲田大学文学学術院教授)

2019年8月、どらま館企画のイベント「憲法と身体」では、追手門学院高校の石井路子先生のワークショップ「身体の声に耳すまし、個人の身体を取り戻す」と木野彩子さんのレクチャー・パフォーマンス『建国体操ヲ踊ッテミタ』が開催されました。今回の自主ゼミでは、二つのプログラムをレポーターと共に振り返り、これまで日本が体験した(している)二つの憲法と身体の関係について語り合います。7月の参院選以後、日本は大きな自然災害により「命を守る行動」を取るよう喚起されましたが、文化的にも同様のことが言えそうです。戦中回帰を目指し、現行憲法の停止を可能にしようとする勢力から「命を守る」ためにも、「憲法と身体」をふり返り、今身体に何が必要なのか考えてみたいと思います。当日は、映像、画像を交えながら、話を進めていきます。「命(身体)を守る行動」を!



10月29日(火) 19:00 – 21:00 くらい

早稲田大学戸山キャンパス 33-231 教室

どなたでも! 聴講自由! 途中参加あり! 文芸ジャーナリズム論系・水谷ゼミ主催